

# ANALYSIS OF TRADE INTEGRATION OF MEXICO: A STUDY BASED ON GRAVITY MODELS AND NETWORK INDICATORS

エルナンデス ガルシア ルイス ヘラルド

<https://hdl.handle.net/2324/6787399>

---

出版情報 : Kyushu University, 2022, 博士 (経済学), 課程博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)

氏名	HERNANDEZ GARCIA LUIS GERARDO		
論文名	ANALYSIS OF TRADE INTEGRATION OF MEXICO: A STUDY BASED ON GRAVITY MODELS AND NETWORK INDICATORS (メキシコの貿易統合の分析：グラビティモデルやネットワーク指標に関する研究)		
論文調査委員	主査	九州大学	教授 石田 修
	副査	九州大学	教授 加河 茂美
	副査	九州大学	准教授 堀井 伸浩

## 論文審査の結果の要旨

本論文では、居住者ベースの貿易統計データと国際産業連関表による国籍ベースの付加価値貿易データを用いて、メキシコを中心とした貿易構造を分析し、メキシコとのアジア太平洋諸国との経済統合の考察を行っている。

本論文は2つのアプローチにより多面的に分析されている。第1に、貿易データを利用して推計された重力モデルを用いて、メキシコの貿易構造を産業レベル、そして企業レベルで詳細に分析した。その結果から、産業レベルでは、輸送機器部門などの中高付加価値製造部門において、メキシコがアジア太平洋諸国との間の貿易関係を深める可能性があること、そして、企業レベルでは、メキシコの製造業の企業にとって、アジアが統合プロセスに最も有望な地域であることを明らかにした。第2に、メキシコの重要な産業である輸送機器産業の付加価値貿易データに次数分析、クラスタリング分析、中間中心性分析、固有ベクトル中心性分析、コミュニティ検出分析といった広範なネットワーク分析を適用することにより、付加価値貿易のネットワーク構造を詳細に評価している。中心性分析の結果から、付加価値貿易におけるネットワークの中心は、主に先進国によって支配されているが、中国やメキシコなどの新興国も重要な位置を占めていること、そして、コミュニティ検出分析の結果から、メキシコは東アジア太平洋諸国のオーストラリア、フィリピン、インドネシア、タイ、シンガポール、マレーシア、日本と良好な関係にあることが解明された。

以上のように、本論文は、メキシコのグローバル経済への統合を、アジアとの貿易構造に注目して重力モデル分析とネットワーク分析から詳細に分析している。なかでも、国籍に基づいた付加価値分析とネットワーク分析を融合させたことは高く評価できる。したがって、本論文調査委員会は、HERNANDEZ氏により提出された論文「ANALYSIS OF TRADE INTEGRATION OF MEXICO: A STUDY BASED ON GRAVITY MODELS AND NETWORK INDICATORS (メキシコの貿易統合の分析：グラビティモデルやネットワーク指標に関する研究)」を、博士(経済学)の学位を授与するに値するものと認める。